

ぐんまこどもの国児童会館

ニコッ通信 nicotto tsu-sin!

おめでとう
ございます!!



2021.1.15

第72号

発行/公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



作品名:
銀河鉄道

第7回全国カブラ大会で当館からエントリーしたカズーさん(小3)が応募数704点の中から低学年作品部門で優秀賞に輝きました。

スペシャルサイエンスショー

「らんま先生のeco実験パフォーマンス
～サイエンス×環境問題×楽しい～」

らんま先生のたのしい実験パフォーマンスです! 水と環境の実験で自然エネルギーのことや、海ゴミのことなどわかりやすく教えてください。



開催日:2月14日(日)
時 間:①11:30～12:30
②15:30～16:30

会 場:多目的ホール
対 象:一般

(未就学児は保護者同伴)
※4才程度から分かる内容です

定 員:各回100名

受付方法:事前申込。1月22日(金)から電話または、直接来館のうえお申し込みください。

こども観劇会 劇団かかし座公演

「Hand Shadow Show」のお知らせ

世界で活躍する、劇団かかし座によるファンタジックな手影絵ショーを開催します。生命を吹き込まれた影たちが繰りひろげる、「手影絵」が主役の究極のパフォーマンス! ご家族そろってお楽しみください。



開催日:3月13日(土)

時 間:①13:50～14:30、②15:50～16:30
(各回受付は30分前～)

会 場:多目的ホール

対 象:一般(未就学児は保護者同伴)

定 員:各回60名

受付方法:事前申込。2月6日(土)から電話または、直接来館のうえお申し込みください。

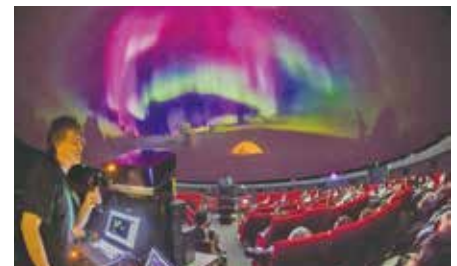
「ぐんまこどもの国にオーロラがやってくる!?

～オーロラメッセンジャー中垣哲也氏のオーロラ投影 & トークライブ～」

オーロラメッセンジャー中垣 哲也氏による、①北極圏の野生動物や自然に関する(ファミリー向け)投影と、②オーロラに関する(大人向け)投影をスペースシアターで行います。

	①ファミリー向け投影	②大人向け投影
開催日時	3月6日(土) 13:15～14:30	3月6日(土) 15:15～16:30 7日(日) 13:15～14:30
対 象	小学生以上(小学4年生以上向け)	中学生以上
会 場	スペースシアター	
定 員	各回70名	

受付方法:事前申込。2月2日(火)から電話または、直接来館のうえお申し込みください。



他会場で実施したときの様子です。

休館日

1月12日(火)・13日(水)・18日(月)・25日(月)

2月1日(月)・8日(月)・15日(月)・16日(火)・22日(月)

3月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL. 0276(25)0055 FAX.0276(25)0059
URL <https://kodomonokunijidoukaikan.jimdo.com/>
Twitter:@nicottochan5

※次号は、4月15日(木)発行予定

ぐんまこどもの国児童会館 かるた 一挙大公開！

開館 30 周年の記念に職員一丸となって制作した
「ぐんまこどもの国児童会館かるた」のすべてを一挙大公開します！



是非遊びにきてくださいね(^^)／

第29回
ぐんま
こどもの

夢大賞



「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で行い、今年度もコロナ禍の中無事29回目を迎え、次年度に繋げることができました。

夏休みが短縮されるなど、子ども達には大変な夏休みとなってしまいましたが、子ども達の豊かな感性と、力強い思いが伝わってくる素晴らしい作品が、絵画部門で5,603点、童話部門は289点ありました。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞11点、銀賞16点、銅賞28点、奨励賞53点が、童話は最優秀賞1点、金賞2点、銀賞5点、銅賞5点、奨励賞10点が入賞しています。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



★インタビュー内容★

- ①受賞を知ったときの気持ち ②制作時間 ③どうしてこの作品をかこうと思ったか
④次は何をかきたい? ⑤将来の夢 ⑥保護者のことば

絵画

最優秀賞



高崎市立吉井小学校(1年)

のむら あさひ
野村 朝陽 さん

「ぼくとふみきり」



- ①うれしかった。ドキッとして、びっくりした！
②3日間
③ふみきりが好きで、いつも自由帳にふみきりの絵を描いていたから。
インターネットでパノラマ写真のふみきりを見て、連れて行ってもらうくらい大好きだから。

- ④大好きな鬼滅の刃の絵を、5日間くらいかけてかいてみたい。
⑤サッカーのオリンピック選手！
⑥おめでとう！と褒めてあげたいと思います。
今日は褒めちぎって、お祝いのごはんと一緒に食べたいと思います。

最優秀賞



太田市(2年)

かわさき しん
川崎 心 さん

「恐竜研究をする博士になりたい」



- ①すごく嬉しかった。
- ②2日間
- ③恐竜が好きだから。家でも恐竜のオモチャや図鑑を持っている。
- ④今回の絵は恐竜について説明している絵だったので、次回は恐竜の骨を発掘している絵を描いてみたい。

- ⑤恐竜博士
- ⑥好きな内容の絵で表彰して頂けた事がとても嬉しい。技術的にはうまい絵ではないと思っていたが、技術面ではなく、子どもの意欲や描きたいという気持ちで評価されているのが嬉しい。子どもの夢を応援してくれる場所があることがありがたい。親子共々、感謝の気持ちでいっぱいです!!!!

最優秀賞



桐生市立川内小学校(5年)

きし ゆめあ
岸 夢愛 さん

「2030 Dream Love コンサート!」



- ①とてもうれしかった。
- ②3週間くらい。
- ③私は、歌とピアノが好きなので、バンドを組んで自分の作った曲を東京ドームで演奏してみたいと思ったからです。
- ④私は、学校の先生になるのが夢なので、その職業を描いてみたいです。

- ⑤中学校か高校の先生です。(教科は算数が音楽)
- ⑥絵を描くことが大好きで、毎年夢大賞の作品を描くことを楽しみにしています。
今回、最優秀賞をいただけ大変喜んでます。夢大賞は、小学1年生から応募していて今年で5年目です。6年間応募すると決めているので、来年もみなさんに見ただけよう頑張って描いてほしいです。

最優秀賞



渋川市立橘小学校（5年）

す すき すみれ
鈴木 堇 さん

「夢絵の具」

- ① 3年前に頂いたこの賞を、今年もまた受賞できるとは思わなかったで、とてもおどろいた。
- ② 3週間
- ③ 私は絵を描く事が好きなので、描いた絵が現実になればいいなと思い、書き始めた。
ロアルド・ダールのお話のように、時々ユニークな詩を入れてみた。登場人物のカラスは軽いノリなので、詩というよりもラップのようになってしまった。
- ④ 今回の童話のように、色やにおい、詩を入れて書きたい。
- ⑤ お医者さん。
- ⑥ 去年は妹が受賞し、本人も2度目の受賞のためとてもうれしく思います。日頃から図書館に通い、本を沢山読んでいたので、その成果が出たのかなと思います。娘たちの作品に私が版画でさし絵を入れて作品集を作りたいと思っています。

「夢絵の具」

渋川市立橘小学校 5年 鈴木 堇

ぼくは夕方の散歩が大好きだ。家の裏の林の小道が、ぼくのお気に入りの散歩コースだ。ここは静かで心地がよい。ぼくがいつものように夕方の散歩を楽しんでいたある日の事だった。黒い影が一本一本の木の影に隠れながらぼくを追いかけてきているような気がした。突然その黒い影はぼくのすぐ目の前に現れた。それは闇のように黒い一羽のカラスだった。カラスは小さな木箱をくわえていた。カラスはぼくの方をちらっと見ると、ちょこちょこジャンプしながらぼくに近よって来て、くわえていた木箱を地面に置いた。そしてまたすうっと木の影に吸い込まれるように姿を消してしまった。

木箱の中に何が入っているのだろうと、ぼくはおそろおそろ箱を開いてみた。中に入っていたのは使いかけの絵の具だった。黒のチューブはほぼ空っぽだったが、他の色は全く使われていないようだった。絵を描く事が大好きなぼくの事をカラスは知っていたのだろうか。奇妙に感じながらも、ぼくは絵の具を胸に抱え家へ戻った。

家では、母さんが夕食の準備をしていた。「光、お帰り。あら、何その木箱は。」こちらも見ずに背中越しに母さんは言った。母さんは生まれつき目が見えないが、五感是谁よりも敏感だ。一緒に食事の準備をしながら、さっきの出来事を話すと、母さんはとてもおどろいていた。

夕食後、ぼくはあの絵の具を早く使ってみたくて急いで自分の部屋に行った。画用紙を一枚取り出し、ダリアの絵を鉛筆で描き始めた。鉛筆で描き終えてから、赤とむらさき色の絵の具をパレットに出してみた。今までに見たことの無い色鮮やかな絵の具だった。水を一滴たらすと絵の具はシュワシュワと音を立てながら泡を出した。筆でその絵

の具を混ぜると、木イチゴのような香りが広がった。

ぼくが夜空の花火とダリアを組み合わせて描きたかったのには理由がある。母さんは年に一度の花火大会を楽しみにしていたが、今年は花火大会が中止になってしまった。母さんは目が見えないが、あの体にひびくしょうげきと音から花火の形を想像しているようだ。それは「心でものを見る」という事だろうか。もしそれができるのなら、鮮明な色、庭に咲いている美しいダリアやぼくが描いた絵もはっきりと見る事ができるのではないかと信じていた。今までぼくが何枚も絵を描いてプレゼントし続けてきたのはそのためだ。

ようやく、赤いダリアが夜空に咲き乱れる絵が仕上がった。それを母さんに見せたが、残念ながら音もないその絵からは、何も見えなかったようだ。しかし母さんは喜んでくれて、絵をベッドのとなりの大切な物をしまう引き出しにしまった。

次の日の朝、母さんは不思議な夢を見たとぼくにおどろきながら話してきた。母さんの夢はいつも音や香り、触った感覚などで、色や形の無いものだった。しかし昨日は生まれて初めて鮮明な色と形に出会ったというのだ。話を聞けば聞くほど、ぼくがカラスにもらった絵の具で描いた絵が夢になって出てきたように思えて仕方がなかった。ぼくはカラスに話を聞きたいと思った。カラスがくれた絵の具を持ち、裏の林へ急いだ。ぼくはカラスがいると思える木の影を見つけると声をかけた。「カラスさんそこにいるんでしょ。」木の影が黒い大きな翼に変わり、あの時のカラスが現れた。

「この絵の具は一体何。カラスさんは使い方知ってるの。」

と聞くと、カラスは歌い出した。

オレの体は 絵の具でできているカラカラス
見た目は黒でも腹は白
一つお願い聞いてよー 兄ちゃん
オレの体を白くしてよー 兄ちゃん
本当はなりたい 白鳥に

腕なきゃ描けない 筆持てない
優れた兄ちゃんなら すぐ描ける
描けば 夢も 空間も
実現するぜ 兄ちゃんの現実

「ぼくは兄ちゃんじゃなくて光だよ。君は。」

兄ちゃんがコーで オレはカー
カーカーコーコー カッコイイ

「君はこの絵の具で描かれたんだね。黒い絵の具が全部なくなるほど塗られたから影と一緒にしちゃうのかな。白く描き直してあげるね。」ぼくはカーを木の影に連れて行った。白い絵の具に水をたらすと、シュワシュワと音を立てた。今度はサイダーのような香りが広がった。ぼくはカーが影と一緒にいるうちにサッと筆を走らせた。すると影の中から、まばゆい光を放つ白い鳥が現れた。「ありがとうございます。私はあなた様のおカーげで無事白鳥になることが出来ました。このご恩をどうお返ししたいしましょうカー。」ぼくの目の前に現れたのは白鳥ではなく少し礼儀正しくなったつるだった。ぼくの絵がへたなせいかと思うと申し訳ない気持ちでいっぱいになった。でもカーのさわしいラップを聞かなくて済むかと思うと、本人も喜んでいる事なのでこれで良しとした。

「カー。ごめんね。君は白くて美しいけれど、白鳥じゃなくてつるになっちゃったんだ。ぼくのせいで。本当にごめんね。」

コー あやまらないで 下さいな
私はつるっと すべて間違っ
つるになったん たんですもの
たんものなんか 織らないから
気になさらずによー 兄ちゃん

「中身は変わってないんだね、カー。ところでこの絵の具は空中に描けば本物になるんだよね。この前は紙に描いたら夢になったよ。」

そうだよ これは 夢絵の具
夢は見れるし 夢かなう
一筆書きで 描いてごらん
思いを込めて 描いてごらん
ついでに も一つ お願いガ
ごらんの通り この林
私一人で さみしいの
出来たら 描いてよ 私の仲間

「カーは仲間がほしいんだね。」と言って、ぼくは黄色の絵の具をしぼり出した。シュワシュワと音を立てながらパイナップルの香りが広がった。空中に筆を走らせると手の平サイズの小さな黄色い象が現れた。カーはその黄色い象を背中に乗せた。次にぼくは赤と白の絵の具を混ぜてみると、イチゴミルクの甘い香りが広がった。次に現れたのはピンク色に白の水玉の、またもや小さなきりんだった。「もっと自信をもって描いてごらん。」と黄色い象が言うと、ピンクのきりんもうなずいた。ぼくは、みかんの香りの絵の具でダンゴムシを、メロンソーダの香りの絵の具でテントウムシを描いてみた。するとそこに現れたのは直径一メー

トルもある巨大なオレンジ色のダンゴムシと、その倍以上もある巨大な黄緑色のテントウムシだった。テントウムシの背中には白い星の模様がかった。想像以上の大きさに、カーと、小さな仲間達は大笑いした。カーは、個性的な仲間が増えて大喜び。羽を大きく開き一本足でクルクルと踊り始めた。

ヨーヨー ようこそ仲間達
光と これから お散歩に
コロコロ転がり 行ってみよう
ゴロゴロのんきな 昼さがり

カーの背中に象を、巨大テントウムシの背中に光ときりんを乗せ、ダンゴムシは転がりながら、向こう側に海に見える山の頂上までやって来た。みんなで空を眺めながら寝転がっておしゃべりをした。光は、心の奥にしまっておいた母さんへの思いを話し始めた。「母さんにぼくの顔を見てもらいたい。母さんにこの素晴らしい自然を見せてあげたい。本物の打ち上げ花火を見せてあげたい。」と。「寝ている間、まぶたの上に目を描いたらどう。」と巨大テントウムシは言った。みんながおかしな意見ばかり出し合っていると、カーがまたもや一本足で立ち羽を広げ歌い出した。

そうだよ これは 夢絵の具
夢は見れるし 夢かなう
かなえてやろう コーの夢
見せてやろうぜ カーさんに
カーけばかなう コーの世界

光にはカーが何を言いたいのがよく分かった。

「お願い。ぼく、すぐに家に帰らなきゃ。」

ぼくは巨大テントウムシの背中に乗って家まで大急ぎで戻って来た。母さんの部屋へ入り、ベッドのとなりの引き出しから最初に描いた絵を取り出した。ぼくは夢絵の具で絵に足りなかったものを描き加えた。ぼくの胸は高なった。ぼくは母さんに気付かれないように、絵を元の引き出しにそっとしまった。

翌日、ぼくはとんでもなく早起きをした。「おはよう。」と母さんに言おうとしたのに、「昨日はどんな夢を見たの。」と間違えて言ってしまった。母さんはめずらしく大きく目を見開いたまま話し始めた。

「おはよう光。この前の夢も素晴らしいけど、昨日の夢はあなたの顔まではっきり見えたのよ。」母さんの目はとても輝いていた。ぼくはとてもうれしかった。カー達にお礼を言いたいと思った。あの日以来ぼくはカー達の姿を見ていない。ぼくは夢絵の具で彼らの絵を、夢絵の具が使い切るまで描き続けた。

あれから二年たった今、母さんの目は奇跡的に少しずつ見えるようになってきた。お医者様も信じられないと言っていた。

今夜は待ちに待った花火大会の日。一発目、花火が音を立てて夜空に散ると母さんの目の中で赤くキラキラと輝くのが見えた。それはあの日ぼくが描いたダリアの絵のようだった。次々と打ち上げられる花火の中に変わった花火があった。大きなみかんの様な大輪の花火、黄色い象やピンク色のきりん型の花火。そして大きく羽ばたくカーの姿によく似た花火が打ち上げられた。その近くで緑色に光る流れ星を母さんと見つけた。ぼくの夢はかなった。

「ありがとう。夢絵の具。」

開館30周年記念イベント「荒馬座公演～未来へ受け継ぐ日本のまつり～」報告

「ドドンコドンドン！ ドドンコドンドン！」

ついに公演の幕開けです。「霊山太鼓(福島県伊達市霊山町)」の活発な音色が体に心地よく響きます。

(久しぶりだ、この感覚・・・) そんな声が会場のどこからか聞こえた気がしました。

令和2年、全国各地の祭りが中止・縮小となりました。周知の通りですが、新型コロナウイルスによる影響です。だからこそ民族芸能を舞台化・演奏する『民族歌舞団 荒馬座』による本公演の意義は大きく、当館の30周年を記念するだけではなく、今こんな時代だからこそ、たくさんの方々の心に癒やしと元気を与えることができるかもしれない。そんな希望が太鼓の音を感じた瞬間、確信にかわっていました。

田んぼの神様と言われた龍にちなんだ「龍舞」や農作業で働く馬への感謝が込められた「荒馬踊り」等、子どもたちも真剣な眼差しで観ています。未来を担っていくのは目の前にいるこの子どもたちです。

鹿の角をつけた二匹の獅子が登場すると、会場の空気が一変します。岩手県大船渡市三陸町浦浜地区に伝わる「浦浜獅子躍」です。2011年3月11日、津波に流された浦浜の人たちは震災という困難を乗り越え、亡くなった多くの人たちのことを思い出しながら、今でも心を込めて踊り続けているそうです。

公演も終盤にさしかかり、はしごの上で華麗な離れ技を次々と披露する「はしご乗り」の最中でした。はしごの天辺で座員の男性が右手を離すと同時に垂れ幕が降ろされます。そこには「30周年おめでとう」の文字が・・・。サプライズな演出に感謝感激です(^o^)/ そこにいる誰もが盛んに拍手を送りました。

本公演ではコロナ感染拡大防止のため、観客による掛け声や声援等を制限しましたが、それでも民族芸能の醍醐味を十分に感じることができました。荒馬座のみなさん、感動をありがとうございました！

そしてコロナ収束後には、また子どもたちと一緒に日本のまつりで盛り上がりましょうね！！



開館30周年記念 にこにこサロンスペシャル ～福田翔さんとあそぼう♪～

11月21日(土)、「開館30周年記念にこにこサロンスペシャル～福田翔さんとあそぼう♪～」が開催されました。あそび歌作家の福田翔さんは、2017年に児童会館のマスコットキャラクター「にこっちゃん」のイメージソング「にこっちゃん GO!」を制作していただいた他、雑誌の連載や作詞作曲を手掛け、テレビ出演等もされている方です。



当日は快晴！と思いきや、まさかの強風・・・屋外での開催予定が館内多目的ホールに変更となりました。翔さんとにこっちゃん、で「にこっちゃん GO!」の体操を踊ったり、オリジナルのあそび歌やパネルシアターを演じていただき、お子さんから、おじいちゃんおばあちゃんまでたくさんの方が楽しんでいました。コロナ禍の中、今回の催し物が開催できたことは私達職員にとっても大変嬉しいことでした。



翔さんの明るく元気なステージが、どこか不安な気持ちを吹っ飛ばし、皆を笑顔いっぱいにくれたと強く感じた一日でした。

群馬県児童館連絡協議会より ～JA共済群馬様より5年連続で寄付金をいただきました～

今年も、JA共済群馬様より地域貢献活動の一環として、群馬県児童館連絡協議会の会員65館へ図書購入費用(各5万円)の寄付金をいただきました。こちらの寄付金は、平成28年からいただいております、今年度で5年連続となりました。



各館とも、いただいたご寄付のおかげで、図書コーナーの絵本が充実し、来館した子ども達を楽しんでいます。児童会館でも、ユニバーサルデザインの絵本や、世界の子どもの生活などがわかる本などを増やすことができました。これからも、群馬県内の児童館が、次代を担う子ども達にとって健やかに安心して過ごせる場となれるよう、役割を果たしていきたいと思っております。温かいご支援、本当にありがとうございました。



にこっと通信デジタルライブラリーはこちら →
開館当初からの「ニュース」や「通信」のバックナンバーがご覧いただけます

